

熊野三山奥の院

玉置之巨杉

おおすぎ

第十一号



発行 玉置神社
令和6年2月1日
電話 0746-64-0500
FAX 0746-64-0429
〒647-1582
奈良県吉野郡
十津川村玉置川1

祭典のご案内

- 「祈年祭」二月十七日
- 「三柱神社初午祭(例祭)」三月七日
- 「出雲大社教玉置教会春季祖霊祭」三月春分の日
- 「白山社例祭」五月六日
- 「玉石社例祭」五月十三日
- 「出雲大社教玉置教会例祭」五月十四日

「新年のご挨拶」

皆様におかれましては、「今年こそは」という気持ちで新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。



昨年世界には目に余る大変悲惨な出来事が多々ありましたが、楽しい出来事はあまりありませんでした。過去のことを振り返ることは非常に大切なことだと思いますが、私は今、将来に向けて地球的な視野から何かを考える時期がきているような気がしております。それは、地球温暖化対策ではないでしょうか。昨年の十一月十一日に「世界遺産を守る会」の呼びかけで、「玉置山の神域を守る」というフォーラムを開催して戴きましたが、その根底には地球温暖化対策があります。対策は早ければ早いほど大きな効果が生まれます。我々の身体も同じことで、早期治療が本当に大切なことだと思います。地方自治体をはじめ真剣に温暖化対策を考えていく時期がきているのではないかと危惧しているこの頃でございます。

さて、話は変わりますが、この書面をお借りしまして、令和二年に立ち上げました「令和の大改修」のご報告をさせていただきます。

先ずバイオトイレの設置を致しました。そして、神武社及び若宮社の改修、次に後白河院御幸及び和泉式部参詣記念塔の覆屋建替を終え、水の神「真名井社」の建替も終了致しました。現在、令和三年度から始まりました国の重要文化財「社務所」の大改修が



継続されておりますが、国の予算の関係で、多少改修は遅れています。本年から足場が組まれ、建物の覆いがされ本格的な改修が始まっていくと聞いています。しかし、「社務所」の大改修には、基礎となる石垣の調査も必要であり、少なくとも今後七・八年は掛かると思われます。

それとともに昨年度から「神輿殿」の大改修が始まりました。現在、「神輿殿」は解体され、跡地には何もなく、景観も少し変わってきていますが、本年には新しい「神輿殿」が完成する予定でございます。これで玉置神社の小規模な社殿の改修はほぼ終了ということになります。

「社務所」の大改修が終わった後、「本殿」そして「三柱社」・「出雲社」という順で改修が行われる予定でございますが、本当に気が遠くなるような話でございます。また、莫大な費用が掛かる話でございます。

私は、玉置神社は日本一の神社だと思っております。世界遺産であり、天然記念物である「杉の巨樹群」があり、国の重要文化財「社務所」があり、修験道の聖地「玉石社」があります。そして本殿の主祭神は、日本書紀の

最初の神「国常立」の神でございます。これほど凄惨な神社が何処にあるでしょうか。「パワースポット」という表現では表せない荘厳な雰囲気をもった神社だと思います。

この素晴らしい神社を守り、後世に引き継いでいくのが我々の責務であり義務でございます。そのため、我々職員一同、この「令和の大改修」を一致団結して、全身全霊取り組んでいく所存でございます。しかし、我々だけでは出来ません。皆様のご支援ご協力が必要でございます。よろしくお願い致します。

最後になりますが、令和六年の御代に皆様方のご発展・ご活躍・ご健勝を心よりお祈り致します。本年も引き続き玉置神社のことよろしくお願い致します。

玉置神社 宮司 舛谷 武



「献湯祭・注連縄奉納奉告祭」
十月十七日(火)

天高く聳える
県指定天然記念
物の杉の巨樹群
の内、神代杉・夫
婦杉・大杉・磐奈
杉・常立杉と本殿
に注連縄が奉納される注連縄奉納
奉告祭と、村の湯泉地温泉・十津川
温泉・上湯温泉の御湯が奉納される
献湯祭が、十津川村観光協会主催に
て斎行されました。注連縄は全て十
津川産のねずみ米が使われ、観光協
会が中心となり製作されます。当日
ご奉仕された二十七名の方々は要
領よく、本殿の注連縄を含めて二時
間ほどで張り終えました。新しくな
った注連縄により、杉の木々がより
大きく輝き雄々しく見えました。



材料の調達
に製作そして、
取り付け奉納
をしていただ
いた方々に心
より御礼申し
上げます。

「秋の例祭」 十月二十四日(火)

八月以降、不安定な天候が続く、
連日の降雨もしばしばでした。しか
し、この例祭が近づく頃には比較的
安定した天候となり、安堵すると同
時に過ごし易さを感じていました。

ただ、生活するのに適した気候は、
ほんの短い期間に感じられ、暑い気
温から一気に寒いと感じる気温に
下がったような玉置山の様子でし
た。

例祭当日は好天気となり、ご参列
の皆様は、気持ちよくお過ごしいた
だいたのではないのでしょうか。

今年の例祭は、コロナ禍というよ
り、令和の大改修

工事の影響があつ
たと言えます。広
い斎庭が使用でき
ない状況のため、
本殿横(神武社・若
宮社前)の斎庭に
於いて池上真由美
さん(前十津川村
応援大使)による
歌謡ショーと餅まきが催され、参拝
者は、美しい歌声に酔いしれた後、
汗ばむ程に餅を拾われていました。
午前九時三十分、境内に参列者を
はじめ多くの
参拝者が見守
る中、舂谷宮司
以下祭員及び
責任役員・総代
が参進、本殿の
座に著き、報鼓
と言われる大
太鼓の音が境
内に鳴り響く
と、いよいよ例
祭の始まりで
す。



ピーンと張り詰めた空気が会場
を覆い祭りを進行する典儀の声だ
けが響き渡ります。肅肅と厳格に祭
儀が執り行われていく中で、舂谷宮
司の祝詞奏上に耳を傾けながら手
を合わせる参拝者の姿がありまし
た。そのお姿は、玉置の神様に感謝
の気持ちをお伝えしているように
も見えました。

本殿での神

事が滞りなく
済むと、神幸の
儀が斎行され
ました。年に一
度、御旅所に神
様がお出にな
られます。神様
は御旅所から
国や村全体を
ご覧になられ
人々の様子を
伺われると言われます。神様は、人
々の繁栄を御喜びになられていた
ことでしょう。
御旅所に渡御され神事が肅々と
済むと本殿に入御なされる還幸の
儀が斎行されまし
た。舂谷宮司が鄭重
に「御」を奉戴しご
無事に本殿に入御
され、本年の例祭が
滞りなく申し納め
られました。
規模は縮小され
ましたが、神様に喜
んでいたたく神賑



行事も催行され御神徳
が益々高まる例祭とな
りました。
ご参列いただきまし
た皆様の益々のご健勝
とご多幸をお祈り申し
上げます。



「山の神・神恩感謝祭」
十二月七日(木)

「山の神様」として親しまれる大
山津見神(おおよまつみのかみ)。
神話では、伊弉諾(いざなぎ)・伊
弉冉尊(いざなみのみこと)の子、
また、木花開耶姫(このはなさくや
ひめ)の父として語られる神様です。
山を司る神様として、山津持(や
まつもち)とも言われ、人々から広
く信仰されています。
十二月七日「山の神・神恩感謝祭」
が斎行され、山林労働者の安全祈願
神事が執り行われました。
村より農林課様、森林組合様、木
材協同組合様。
県より南部農
林振興事務所森
林共生推進第二
課様、そして、東
造林様、中林業
様、株式会社十津
川造林様等凡そ
二十名のご参列
をいただきました。



参拝者の声

私は、アイルランド生まれの教会の神父・カレンです。今年八十歳。母国から見れば地球の裏側ともいえる「熊野の地」を中心に、五十年も長きにわたり教会で奉職しています。



人呼んで『瞑想の神父』、その信仰活動に日本古来の「瞑想」を取り入れ独自の活動をしています。

私は、この初秋に初めて玉置神社を訪れました。心臓に疾患を持つものの、歩くことが大好きで、自然あふれる参道をゆっくり歩きました。周囲の木々の緑を楽しみ、鳥のさえずりや風の音を、聞きながら…。私は、ふと立ち止まりました。「神様に本当に近くて、ご挨拶できる場所。何時間でも居たいデスネ！」

「(何百年の樹齢の杉の木の前に)言葉にならない！空気がおいしい。美味しすぎるネ！」

と、心からの言葉が湧き出てきました。私は、なぜ、この熊野の地をその生涯の大半を過ごす地として選んだのだろうか？長い長い人生の、目的地の一つがここ『玉置神社』だったのかも、うなずいてしまいました。

「もう一度、来たいネ・・・。」

私は、この二週間後心臓手術(ペースメーカー)の予定が入っていました。冬を病院でゆっくり過ごし、温かいシャクナゲの咲き乱れる春に、再び訪れることができますようにと願いました。

改修工事関係者の声

『玉置神社御神輿殿 文化財保存修理に関わる解体工事について』

窪添正昭建築設計事務所 窪添正昭氏

十津川村指定文化財の御神輿殿は、令和の大改修の一環として、また十津川村保存整備事業として、令和五年度と六年度の二年間で修理工事を行なっています。初年度は建物の解体と部材修理、次年度は基礎工事と建物再建を計画しており、現在は解体工事まで終わっています。御神輿殿の来歴は分かっておらず、この度の解体でも創建年代等は分かりませんでした。部材への墨書から、おそらく昭和三年には屋根とそれを支える骨組が、そして昭和四十六年には外壁の一部と内部の仕上げが、それぞれ大規模な修理を施されていたことが分かりました。

創建時と思われる部分は材木も良質で、大変丁寧な施工がされていました。ところが残念ながら腐朽や損傷が著しい為、部材を全て再活用することは適わず、新たな材料も補填しながら修理することになります。しかし、その際にも先人の知恵に学びつつ、同等の材料と工法にて、施工者の(株)和昇と一緒に修理工事を進めてまいります。



解体前



解体途中の屋根

神社のおはなし き、玉置神社の紋



これが玉置神社の社紋です。洲浜紋(すはまもん)といえます。浜辺にできる島形の洲。中州とも言われますが、水の流れていろんな恰好に変わるようにならざるやかなラインが特徴です。中国の神仙思想で知られる蓬萊山の形に似ていることに由来し、平安時代からめでたい慶賀の式などに、飾りや調度品に用いられたと言われます。

式、御神輿

十月二十四日の例祭に繰り出される御神輿です。この御神輿を安置する神輿殿の老朽化が進み、倒壊の恐れが出てきたので、十月より解体工事が進み、現在は、完全に解体され基礎部分のみを残す状況です。そのため、御神輿は、本殿横の仮の社に安置されています。



摂社

「三柱神社」(みはしらじんじや)

神社境内に古来より鎮座されている三柱神社を紹介いたします。

本殿から東側に進むと大きな社務所があります。そこを通り過ぎると赤い幟が風に靡き、赤い神前幕の社殿が皆様を迎えてくれます。この神社が、玉置神社の摂社、『三柱神社』です。「摂社」とは、本社に付属し、本社に縁の深い神様や特別の由緒がある神様をお祀りしている神社を指します。

三柱神社の神様は、倉稲魂神(うがのみたまのかみ)・天御柱神(あめのみはしらのかみ)・国御柱神(くにのみはしらのかみ)の三柱と伝わっています。

この倉稲魂神は、京都府の伏見稲荷大社で、農業や商売繁盛などの神様として知られています。また、天御柱神と国御柱神は、奈良県生駒郡の龍田大社で風を司る神様としてお祀りされていることで知られています。

三柱神社は、別名「稲荷社」(いなりしゃ)とも呼ばれますが、稲荷信仰が盛んになる前から地主神(じめしのかみ)としてお祀りされており、厄除けや心願成就さらに精神の病(ノイローゼなど)また、海上安全にも特別な霊験があるとされています。三柱神社の例祭は、三月の初午の日に斎行されるため「初午祭」とも呼ばれ、本社の例祭に次いで盛大に執り行われます。



改修工事進捗状況

☆重要文化財 社務所及び台所 修理現場より

県文化財保存事務所発行文書から

☆令和五年度の主な工事

◎『風呂・渡廊下の解体完了』

七月より着工していた風呂・渡廊下の解体が十一月下旬に完了しました。解体してみると、下地や壁の中に古い時代の壁があり、時代によって使い易いように改装されていたことが分かりました。

風呂・渡廊下の解体した部材は、鐘楼と同じように猿飼の出張所保管庫にて収納し、社務所の工事完了後に復旧する予定です。

◎『工専用モノレールとプレハブ完成』

資材運搬のため、工専用モノレール（積載量五百キログラム）を設置しました。村道から境内まで高低差がありますので、運搬作業がかなり軽減されます。また、社務所西側の斎庭にプレハブを設置しました。一階は作業スペース及び保管庫、二階は建具保管庫として使用します。



◎『地質ボーリング・耐震診断』

建物が大きな地震で倒壊するかもしれないかを見るため、地質調査・構造診断を行いました。これから解体を進めるに当たり、修理方針を決める上で重要な調査です。

今回の耐震診断の結果はまだ精査中ですが、概ね震度六以上では倒壊の恐れありの判定が出ました。熊本地震や東日本大震災など百年に一度の地震が来てしまったら倒れてしまう可能性があるということです。

そのため、組み立ての際には、風蝕・腐れなどで弱った部材を修理するほかに、必要な構造補強を行う予定です。

耐震診断とは

例えるなら、この建物の健康診断のようなことです。医者が各種検査を行ったり質問をしたりして、体（建物）の問題やリスクを見つけます。文化財としての価値を守りつつ将来の世代に残すために安全な環境を作り出すことが目的です。

地質ボーリング調査とは

地層の性質や構造を調査するために行われます。今回はノンコアボーリングを一箇所にて行いました。

スウェーデン式

サウンディング

地中の地層の性質を把握するために使用されている手法です。ボーリングより精度は劣りますが、機械が小型で便利です。今回は七箇所を実施しました。



設置されたプレハブ

解体が進む風呂と渡廊下

指定概要

国指定重要文化財

玉置神社社務所及び台所一棟

建立：文化元年（一八〇四）

社務所：懸造、桁行二十二m、梁間十五、九m、

一重、入母屋造、西面唐破風付、東面

及び西面突出部附属、地階付、銅板葺

台所：桁行九m、梁間八、九m、一重、東面

入母屋造、西面社務所に接続、銅板葺

附：棟札一枚（皆造宮文化元年七月廿一日遷

佛の記がある）

事業期間

令和三年（二〇二一）七月～

令和十二年（二〇三〇）三月（予定）

修理方針

南側の石垣に緩み・はらみが見られるため、建物全体を一度解体して、石垣の積み直しを行った後、再度組み立てます。このような大規模な修理が行われるのは、文化元年（一八〇四）の建立以来、初めてのことです。

☆令和六年度の主な工事

風呂・渡廊下材料の移動

今回解体した材料を猿飼の出張所の保管庫へ移動し、社務所の修理完了まで保管します。

天井板解体

素屋根建設までの期間は、建物内部の天井を先行して調査・解体していきます。

素屋根建設

令和六年夏頃から社務所及び台所を完全に覆う素屋根を建設する予定です。素屋根が完成すると、いよいよ社務所の修理が本格化します。

屋根調査解体工事

素屋根建設後、令和七年一月頃から銅板屋根の解体をしていく予定です。

工事期間中、御参拝の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力のほど宜しくお願いいたします。

『令和の大改修奉賛会』奉賛者一覧

敬称略(令和五年七月一日〜令和五年十二月末日)

〔カ〕アートコンクリート工業(株) 服部幸司、藍檀愛、藍檀玲子、青木隆博、青木正枝、赤石則子、赤沼和正、秋谷まり子、秋山奈央、秋山吉正、浅井咲希、浅井組 浅井誠三、浅野昌仁、浅野芽衣、筋裕美子、麻生高子、阿部恵美子、阿部美穂、安部田英亮、阿部ポンポン塾 阿部浩子、荒井亜耶、荒川恵美、荒川雄、荒島雅代、荒町明美、安倍恵、(医)ひろかみ歯科医院 廣神克彦、(医)明愛会、(医)竜和会 嶋(カ)ニギハヤヒ、飯島美佐恵、飯田香世、飯野鉄雄、井口弥生、池田由美子、石井迪子、石川武、石川由紀子、石崎幸子、石田久美子、石田正廣、石田裕子、石田祐子、石塚博子、石出信也、石のかつら 岩崎弘司、石橋浩、石原明子、石原海玄、泉山聡史、磯見暁、一條広光、伊出淑子、伊藤幸弓美、伊藤孝章、伊藤元、伊東泰伸、伊藤由香、伊藤洋介、伊藤亮、福岡亜里子、稲葉哲哉、稲芳綾子、犬伏敏博、井上真一、井上澄子、井上千佳、井上弥子、井上寛崇、井上文隆、井上泰孝、井上里江、井深初枝、指宿里香、入船ゆかり、岩井健、岩井義郎、岩尾久実、岩尾静香、岩崎暢子、岩崎允俊、岩野孝子、岩橋克治、岩堀小百合、岩間綾子、岩本篤志、上坂俊彰、植田幸江、上田純子、植竹達也、上原伸一、上原祐司、魚矢章博、鶴芦幹雄、浮田幸代、牛尾俊介、内館麻子、内山啓子、宇宙歯科クリニック 廣神崇史、宇津木良太、宇仁淳子、宇仁美那子、宇野司、宇野義也、梅澤奈美子、ふびす荘 玉置晋也、恵美坂 福寿司、MFW(株) 山中京子、江本謙司、江本友恵、生沼美裕紀、生山亜希子、大井智香子、大井史朗、大井由喜子、大石遥、大川隆幸、大久保寿美子、大久保令子、大島英子、太田明男、太田和子、太田恵子、太田博之、大田真希子、大塚泉、大塚勇祐、大坪泰輔、大友啓司、大西聡子、大西由紀江、大野尚美、大野典子、大羽文雄、大橋潤子、大橋正嗣、大平恵里奈、大村しのぶ、大森亜子、大森俊之、大森知子、大森仁、大森裕浩、岡謙介、岡持篤史、岡田一司、岡田和成、岡田喜世江、岡田久美、岡田豊一、岡田英樹、岡野智子、岡原隆祥、岡原美智恵、岡村健治、岡村光世、岡本貴代子、岡本幸保、小川明敬、小川貢三郎、小川知子、沖周治、沖優子、奥田祐史、

奥野尚子、奥野美枝子、小倉知子、小倉弘人、小黒由紀、尾崎俊一郎、小澤辰雄、押谷康彦、尾関美和子、織田晃敏、尾田啓明、小田巻美良璃、小野邦彦、小野貴、小山田知子、恩地清人 〔カ〕(株)EarthUniverse 神護龍、(株)ARMPius 植田亮一、(株)IWS 高澤健太、(株)アクアリンク 勝村皇治、(株)ウエジ建設 上地理照、(株)後、(株)ウテナ、(株)H.Y.C 山端久統、(株)Fワールド。むすび、(株)MKK 森脇裕次、(株)懼コーポレーション 渡辺勝見、(株)近畿興産 藤井條二、(株)クラッチ、(株)高伸 妹尾高伸、(株)光和MDC 飯野秀和、(株)公和設備 田中伸樹、(株)五光 霜中征亨、(株)五伸 巽俊憲、(株)三共、(株)秀拓 米原恭淳、(株)新晋 廣瀬元彦、(株)SMILESOL 小川宏、(株)TAC 武井真一、(株)辻加工所、(株)テレワークサービス、(株)nojimoku 野地伸卓、(株)ハーモニー 松下正行、(株)ハンジ修酒販、(株)BespokeProfessionals 大内宏貴、(株)プラスティテン 原川尋子、(株)ブルーム、(株)三島塗建工業 杉本直也、(株)宮昌建設 宮脇久美、(株)棕木工務店 棕本純央、(株)盟土 土井千代美、(株)ヨシザキ化学、(株)ライフクリエイト 工島辰公、(株)YKワールドビジョン 根本輝尚、会亀利佳子、海藤智子、柿崎秀一、垣本博雄、角谷明巳、笠本耕市、鍛冶嘉明、梶谷昌史、柏井康太郎、片桐昌幸、片野留理子、勝部敦子、桂美津子、加藤章博、嘉藤鴻介、加藤雅文、金谷繁樹、金光律子、兼子郁子、金子是久、兼子貴志、金子俊康、兼子紘明、金田晶佑、金平浩一、神谷耕蔵、加茂知生、茅野宏美、川井徠美心、河合知佳、川合雄大、川上隆夫、川上総合建築(株) 上北浩史、川崎貴江、川副美、河田謙治、川田直人、川西千恵、川端綾子、川端英雄、川原愛、川村清隆、川村佳子、川村真凜、川村美蘭、川本学、神田しのぶ、菅野秀俊、紀伊隆史、岸本真一、岸本聖良、木曾裕、北井重盛、北池ひろみ、北浦誠明、北河真吾、北谷将之、北野満子、木下直美、木林利行、木全鳳成、木村勝美、木村英俊、京秀樹、清川正智、桐田美穂子、切畑屋伊和男、久我南鳳、日下悦子、日下絵美子、日下千鶴、日下部博美、草場仁士、楠元理恵、工藤真吾、工藤美穂、工藤優茄、工藤友華、国見不動(同) 上本浩司、久保純治、久保千賀子、窪添正昭、久保田敏裕、窪田光江、久保田幸伸、久間美智代、熊木真由美、熊代友紀、隈田原哲哉、倉田浩道、倉田裕美子、蔵野弘子、栗原修治、黒石暁美、黒木智栄美、桑原仁美、小池貢弥、小池廣一、小池由美子、煌賀チコリ、香西昭吾、河内雅幸、甲野郁代、

合路光治、古賀桂、古賀正俊、腰高寛史、児島徳和、小関真紀、小戸純平、後藤和子、後藤浩昭、後藤律子、小橋正子、小早川尚子、小林昭子、小林明美、小林絵美、小林一也、小林己未代、小林眞、小林守、小林みよ子、小林慶子、小原邦男、小堀慶子、駒形恵子、小松美香、小宮啓史、小森登美江、小森智子、小山靖子、今和彦、近藤勝博、近藤登喜夫、近藤文哉、近藤益子、近藤義人、㊦齊藤愛、齊藤陽子、酒井浩一、酒井浩司、堺製餡(株) 佐藤剛、坂本由美、坂本利香、佐々智将、笹井昭雄、佐々木稔雄、指中ゆきの、貞金美和、佐竹信彦、佐藤彩乃、佐藤直人、佐藤栄臣、佐藤正隆、佐藤雄喜、佐藤玲子、佐野富子、澤成典、澤井一憲、澤井徳治、澤田佳枝、澤野智明樹、澤野文一、繁田大典、志田光弘、柴田由紀子、芝本牧子、嶋吏永子、嶋津真由己、清水妙、清水利勝、清水義雄、地峯学、下垣佳子、下田玲、下村雅人、杓野夢実、東海林愛也乃、東海林幸子、東海林利英、東海林久乃、東海林千乃、菖蒲りか子、白井泰治、白川由香里、新谷賢一、新里君代、新谷昭代、進藤直子、進藤勇治、神保智、管紀子、菅原充乃、菅谷愛、杉田恵美子、杉本憲昭、杉本麻紀、杉山^{シノヤマ}シヅカ、杉山太士、杉山範子、須崎保、鈴木亜弥、鈴木一春、鈴木昌子、鈴木聖小、鈴木智子、鈴木美江、鈴木美歩、鈴木由佳、鈴木ゆかり、鈴木美子、鈴木まどか、砂本玲子、スロータイム(有) 榎本吉根、妹尾浩美、関岡歩、関根和美、堰野端み佳、世古由美子、瀬戸英祥、曾根康予、それいゆ美容室、㊦平宜史、高井恵子、高尾直美、高嶋晋一郎、高須香菜、高杉昌弘、高瀬夏美、高塚純子、貴成恩子、高野彩子、高野則子、高野浩、高野美由紀、高橋あかね、高橋佳奈美、高橋健一、高橋伸治、高橋照代、高橋滉文、高橋史江、高橋真紀、高橋勇一、高橋義弘、高橋れい子、高旗晶子、高見文猛、高山和之、高山浩二、高山由美、高山百合、瀧栄子、瀧二郎、武勝治、武岡伸幸、武下勝彦、竹島正雄、竹田真子、竹中憲司、竹山幸太、田崎智佳、多田英一、田近陽、巽智子、辰巳雅朗、たつみ糖尿病内科クリニック 辰巳晴規、伊達正起、田中朱己、田中杏奈、田仲英司、田中和子、田中勝美、田中清美、田中慶太郎、田中幸子、田中千春、田中尚子、田中久喜、田中光枝、田中勇次、田中洋子、田中理香、田中利奈、谷眞美、谷岡功三、谷口章子、谷口絢香、谷口多佳子、谷口年勇、谷村工務店 谷村拓哉、田淵昌之、玉置政勝、玉置晃、玉置和則、玉置繁憲、玉置由紀、玉置幸郎、玉置裕、

玉野井希葉都、玉元啓夫、田村卓嗣、田村美奈子、俵真理、千葉光貴、塚田晴彦、塚野國和、塚本講司、津川亮仁、津川紀、月出裕之、辻岡雅基、對馬史子、辻村由佳、槌田陽子、土長けい、土屋敦、土屋卓義、土谷恭代、都築貴子、堤賢児、津禰鹿公亮、津禰鹿裕晃、常守静代、津村貴子、デイジーKAOチーム 高崎薫、寺戸讓治、寺山和代、(同)KITSUNE 福高橋昌子、(同)ときわぎ 木村幸美、(同)なごみ 酒井篤、堂坂和志、戸上茂典、外川三知恵、徳田誠一郎、徳谷太一、徳谷道江、徳谷泰岳、豊田健二、鳥井健一、鳥井由里、㊦中龍雄、仲光男、中井克彦、中居貴稔、中井知江子、中井晴子、中尾真理子、中尾幹子、永尾由美、長岡美代、中川愛一郎、中川文史、中川雅英、中川理恵、中芝幸、長島さやか、中嶋宏之、長瀬賢二、長田一郎、永田聡、中田博幸、中塚喜美代、永塚彩妃、中出誠、中野厚美、中野慶次、長野圭二、中野智子、中野智文、中野雅夫、長橋明子、中拂めぐみ、中村絵美里、中村桂子、中村初美、中村文則、中村元信、中村有紀子、永山繁、中山壽、中山秀樹、中山雅博、中山律子、中吉尚志、並木里英子、鳴戸博基、南保嘉美、牲川義彦、西井理英、西浦壽一、西岡浩二、西岡誠一、西田正、西谷照幸、西野陽子、西村愛美、西村亜宙香、西村あゆみ、西村典之、西村昌子、西村祥文、西脇寛、二谷和子、二宮努、丹羽康子、丹羽保信、根岸伸太郎、根津孝二、野口万亀子、野田魁人、野田慎之佑、野田創、能登谷柊渚、野村幸平、㊦ハート・ケア・ひろはし 廣橋昌紀、芳賀一祐、萩原辰男、橋爪しげ子、橋本麻紀、橋本美紀、橋本幸子、長谷川邦夫、長谷川高之、畑史江、畑田栄子、初井聡子、初井政澄、花井利博、花島良江、塙浩信、馬場以理子、濱田忠雄、濱田利巳、濱田有可、浜村隆史、浜村富恵、浜村梨玖、早川恭弘、早坂友宏、林秀明、林田誠司、葉山ちえこ、原万里子、原田昭子、原田篤、原田貴代美、原田豊子、張本博己、春名紀子、春海多佳子、日浦建設 後木光雅、東久夫、東嶋法男、東出悦子、水川千津、引地一徳、英彦山門坊信者一同、牧井一則、平石浩子、平江親友希、平田厚子、平田光司、平野順啓、平本利絵子、平山文男、廣島秀和、廣島美香、深尾雅代、深田久美、深田萌絵、福井真理子、福島圭子、福田房枝、福本颯太郎、藤井智信、藤井美枝、藤尾眞美、藤岡富博、藤田享子、藤田正、藤平涼子、藤村一郎、藤村一輝、藤村宙史、藤本孝一郎、藤本こずえ、藤本裕美、藤山卓哉、藤原紗恵子、藤原誠、舟生育男、武馬保美、古市直章、古瀬拓也、古田友和、

古田由子、穂苅政幸、保志場グループ、星原諒一、細川英世、細川益宏、堀眞弓、堀裕子、堀留美、堀江朱音、堀戸英樹、本川綾子、本城孝幸、本多勝彦、本間啓人、本間由紀子、本間悠高、本間祐理慧 (マ) 牧野寿美代、マキノ商事(株) 牧野由紀、馬籠祐貴、正木久子、松井裕美、松井美紀、松井美奈、松尾徳政、松尾雅子、松尾由香、松尾嘉三、松岡宏和、松岡雅美、松崎薫、松澤成彦、松下裕栄、松田薫、松田幸枝、松原克羅、松原清明、松本富士子、松本真奈美、松本三幸、松本由佳、松山敦子、松山裕香、眞子政光、摩美ビューティコンシェルジュ 中嶋摩美、丸谷明子、丸山典彦、丸山雅之、三浦つや子、三木万弓、三阪弘子、水城和典、水田優子、水田吉彦、水谷朱里、水谷泉、水谷大、水谷元子、水野雄次、溝際康子、溝口恭子、三谷高雄、道下弘、光武明子、三菱 (三) (株) (証券) 証券(株) 土田伸子、光本文夫、見戸夏美、南方裕美、湊一彌、南恵、峯照男、三橋鉄雄、三原由記子、宮井康子、宮川さえこ、宮崎佐知子、宮根かをる、宮野ときわ、宮本幸子、宮本享是、宮本輝紀、宮本雅之、宮脇藍李、宮脇麻那、宮脇凜乙、宮脇瑠璃芭、向手明子、村上あすか、村田貴司、村本英樹、元木正弘、本嶋茂雄、森光星、森宣人、森晴香、森川彩、森川眞理子、森口智健、森崎隆夫、森下憲治、森田茂樹、森竹玄衛、森藤養子、森本景子 (シ) 八木橋恵子、矢倉優理子、安田愛子、安田美樹、安田洋子、柳広美、柳橋博、八尋年美、矢葺美幸、山内智代、山浦紀子、山岸利康、山口経子、山口貴裕、山口美紀、山崎有喜、山崎和宏、山崎心晴、山崎みどり、山崎淑美、山下敦司、山下和、山下功、山下貴史、山下博幹、山下浩子、山下泰弘、山下勇也、山下隆司、山城真美、山田美恵子、山田光枝、山田安紀子、山中照久、山中富士夫、山本信二、山本正浩、山本巳幸、山本百合子、山谷隆朗、(有) 現代健康研究所 高橋富男、(有) 山正 山口裕与、(有) 島尾表具内装、(有) 野神設備 野神智、(有) 橋爪商店 橋爪哲生、(有) 樋口板金 樋口達也、(有) ファーストブルー 荒澤佑侍、(有) ホームアート 木村剛、(有) まるなか 森本佳成、(有) マルニ商事 仁平昌孝、(有) 御宿工業所 杉山曉彦、(有) 三谷薬局 三谷和子、(有) 村越組、(有) 与五沢建設 與五澤照雄、(有) ワーク 岩崎栄作、結城扇、湯澤徳章、横井公子、横井豊子、横田麻美、横塚みつ、横山智、吉岡克美、吉田聰子、吉田眞譽、吉田泰子、吉田有美、吉野徳一郎、米田昌一、米原祥雅、米本重夫 (ラ) ラーメン弥栄、李榮喜

(シ) 若菜電設(株) 若菜康年、和田吉史、渡辺綾及、渡部小百合、渡辺俊也、渡邊治虎、渡邊昌子、渡辺喜雄、渡邊吉彦、王聖元、

一般奉賛者一覧

敬称略(令和五年七月一日〜令和五年十二月末日)

(シ) 愛須雅文、青木由紀子、赤沼和正、穂本智栄子、浅田悦弘、浅田勝司、足立靖吾妻由隆、アトリエ青海波 佐藤実真、安部慶祐、荒木義喜、荒武由佳、栗野祐子、(医) 竜和会 嶋子(カ) (株) 池尾孝司、池田俱子、石井亜季、石井英明、石川満帆、石川資浩、石川資浩、石古貴士、石田延子、石田祐子、石のかつら 岩崎弘司、市山文字、伊藤春朝、伊藤由美子、井上純子、井上板金 井上征明、今橋かほる、岩元正樹、上江正孝、植田紀恵、上田陽一、植永淳子、上野山さゆり、上原彩愛、上原えみ子、魚谷直毅、内野志保、梅本昌宏、浦川佐代子、浦島観光ホテル(株) 山水館川湯みどりや 名淵敬、江崎三基、悦喜智宏、NKGインフォテック(株) 中垣浩一、蛭子悠加、糸びす荘 玉置晋也、大井史朗、大井由喜子、大植茂男、大内静代、大内宏貴、大久保崇雄、大越大助、大澤啓徳、大高真澄会 黒石珠水、大村由美子、大家重治、岡修、岡一夫、岡やす子、岡崎宗子、小笠原幸子、岡田喜久男、オキシリンク(株) 樋口昭紀、奥村恭子、小黒靖彦、尾崎静代、尾中修 (シ) (株) 阿畔はこぶね 川崎めぐみ、(株) アドバンス 平井宏治、(株) エム・シー富士 松井英樹、(株) OJHH、(株) クリスロン 高山元嘉、(株) ケイ・ツーネットワーク 栗野兼信、(株) 秀拓 米原恭淳、(株) 田野上組 田野上辰也、(株) 中和コンストラクション 大浦晃平、(株) ナンシン 南径承、(株) 二村建築 二村清栄、(株) 野嶋石材店 野嶋正之、(株) ビスポーク・プロフェッショナルズ 大内宏貴、(株) 和昇 遠藤和尊、柿木敏和、角谷誠津子、榎原龍男、加藤純子、加藤三義、兼子弥子、兼子邦宏、金子清三、狩野英己、加納昌依、梶島光政、鎌田千佳子、紙上和子、上下興業(有) 上下勝規、神谷和子、神谷剛史、上山季希、神湯荘 深瀬雅志、苅田吉夫、假家英明、川合祥文、川上昇、川崎めぐみ、川端斗雄、神田千代子、岸田節子、北國英一、北島年僑、城戸勇、衣川徳香、岐阜スプリング(株) 林眞理子、木村卓、木村知子、キャリマート中村忍、協立産業(株)、杭和正、楠雅代、工藤よし江、久保田康裕、黒田郁子、黒田将由、古賀博英、小久保功也、小坂篤司、越田光重、五條市運動普及推進員一同、小平志津、古都音(株) 福田彩乃、小林輝子、琥春、金剛峯寺東南院合同奥駈会、近藤順子 (シ) 雑賀キミエ、雑賀定次、材津裕治郎、榊原タカ子、榊原美和子、阪口憲一、坂田憲治、桜井直子、佐古金一、佐藤春代、佐藤雄喜、里村光順、佐野弘美、佐野征子、澤朱美、澤渡孝夫、沢目佳代子、(資) パール化粧品店、椎原雅美、塩見直也、慈唱院 小澤慧月、篠崎元貴、芝澄夫、芝貴信、柴沢晃、島田信洋、嶋中信一、冷水充、下野尻貴史、下村厚視、(一社) 奈良県ビクターズビューロー、写経の友橋一同、城川喜久、新十津川おどり保存会、新十津川町児童生徒・教職員母村訪問団、須川輝一、須川幸、頭師詮子、頭師浩正、鈴木厚夫、鈴木綾乃、鈴木和三、鈴木喜代子、

鈴木美枝子、鈴木満、関根久美子、関町美恵子、相馬泰隆 (冬) 高垣昌子、高木美和子、高瀬敦、貴成恩子、高野幸雄、高橋隆博、高橋博美、高橋良子、竹田しづ乃、田島重光、田中勝美、田中秀樹、田邊秀樹、谷由美子、谷井康人、田花館 田花敏郎、田原正人、玉置博美、玉置一朗、玉置克己、玉置健人、玉置行祐、玉置順一、玉置純子、玉置倬生、玉置裕也、玉置正澄、玉置衛、玉置陽子、玉野晶子、田和文雄、竹林院 福井良盟、千葉浩一、千葉十一、中馬拓典、辻村啓之、辻本眞佐、土谷英樹、土屋直明、堤野澄子、坪井加代子、出口勝亮、手塚眞寿栄、寺嶋孝、東條旭、堂畑雅彦、時英津子、十津川村観光協会 田花敏郎、十津川村ホテル旅館組合 (注) 内藤亜紀子、中精一、中久枝、仲正人、中昌永、永井勝美、中井知江子、中里直美、長島さやか、中島典子、長竹正泰、中西祥夫、中原康範、中山眞爾、中山美穂、夏野栄子、成橋紳弘、新倉和子、新倉成礼、西崎富士子、西田晃幸、西野雅子、西村昭、西村太吉、西本敏子、新田孝、日本郵便(株) 瀬郵便局 東眞民、温井貴誠、念法眞教 十津川念法寺、念法眞教総本山 金剛寺 樋屋良祐、野村直佑、則本直廣 (注) 萩原伊紀子、橋本幸子、濱中宏介、原万喜、原秀雄、原万里子、原光希、原田恵子、原田良雄、ピースフルピール 中絹代、東勉、東野恵美子、樋口由美子、飛弾桂子、飛弾誠、日高豊、平岩多恵美、平野博之、平野文恵、Pinning 堀川友香莉、広実常久、廣瀬頼子、深田賢、深見美香、深谷真由美、福井栄恵、福留淑美、藤井旅館 藤井敬子、藤田早苗、藤本貴也、藤本裕美、富士よしの(株) 藤ノ原繁昭、朴澤大輔、星野耕平、堀田義樹、堀隆、本城孝幸、本部真吾、本部めぐみ、本間慶子 (注) 前田正伸、牧野克美、舛谷リチア、松下英子、松村哲、松本公子、松本美千代、的場節子、丸山昌三、満願寺 前田峯成、三笠貴史、三方克幸、溝手直幸、みちひらき綾権現 徳留教善、南方美紀、南武雄、峯廻寛、宮田豊、深山隆治、宮本輝紀、宮本善弘、三好元子、村田和正、村田充男、村田佳子、牟禮照夫、荒木貞純、元石清水八幡宮八幡神社 作啓造、森多美子、森弘子、森康子、森泰幸、森井康巨、森崎隆夫、森下起佳、森下創太郎、森地研、森地久治、森地由美子、森本利恵 (注) 保井克允、保井登志子、柳瀬工務店 柳瀬正明、山神裕子、山崎耕一、山崎文代、山崎雄一郎、山田かおり、山田祥、山田吉夫、やまとびと(株) 堀井清孝、山本一隆、山本一元、山本茂、山本武弘、(有)アスク 重田清治、(有)カインド 奥地兼善、(有)ケアネット 奥地兼善、(有)雑賀組 雑賀定次、(有)ファーストブルー 荒澤佑侍、吉川令子、米原祥雅 (注) 呂井美月 (注) わらじ道の会 小黒靖彦

お知らせ

令和六年四月一日より、授与品等の初穂料を改訂いたします。

ご時世に鑑み改訂させていただきます。どうぞご了承くださいませ。

社務日誌より

令和五年

八・八	大日堂例祭
八・二十	新十津川町長 谷川様他二人 正式参拝
八・二六	神前結婚式 (小田家・西谷家)
九・十	(株)香積 今昔美未実玉置 (二三人) 正式参拝
九・二二	永代供養 (中上淑子命合祀)
九・二三	出雲大社玉置教会 秋季祖霊祭 奉納演奏
九・二四	(相模原市 堀田義樹氏)
九・二九	文化庁文化資源活用課 西山調査官他現地視察 献湯祭並びに注連縄奉納 奉告祭
十・一七	(村観光協会)
十・二四	玉置神社例祭 神輿殿解体修理着工 奉告祭
十一・一	現代健康研究所 代表・高橋富男様
十一・六	他九十二人 正式参拝

十一・九

(株)秀拓
代表取締役・米原恭淳様
他十七人 正式参拝

十一・十五

玉置山防災施設の一斉
点検

十一・二二

新嘗祭
(村役場、五條消防十津
川分署、村消防団員十
六人)

十一・三十

永代供養(玉置家)

十二・七

山の神神恩感謝祭
(東造林他七社)

(編集の都合上、十一月末まで)

編集後記

十二月二十四日、クリスマススイブの午後五時前でした。大きく真つ赤な龍の目が現れたのです。それは、大日堂社の裏面から神社を睨んでおり、神代杉・夫婦杉が雄壮にそれに受けて立っているように見えました。

一方、翌日のクリスマス当日の朝、午前七時前には、目も眩むような爽やかな光が、今度は玉石社の方向に差し込んできました。玉置神社では時々遭遇する炎のような色の夕日と、勇気を奮い立たせてくれる美しい朝日です。

また、この朝日は、本殿の中まで見事な程に照らします。元日の歳旦祭では、その神々しい日光に包まれる新玉の年の初めをお祝いすることが出来ました。

熊野の奥の院として誇り高く、玉置山に君臨する玉置神社の底知れぬ存在感を体感・実感するたびに、その深い天空の社の神秘性に心引かれる小生です。

